

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 14週

集計期間 3/31-4/6

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱			1		1		1							3
溶連菌感染症					3			2				1		6
感染性胃腸炎		3	6	4	7	1	2	2	4	4	3	3		39
水痘			1	1	3	2			1					8
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発疹		1	1											2
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ										1				1
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu		1	4	3	5	6	3	5	8	6	4	20		65
			小児科定点総数		124		増減	-81	前週比	60.5%	定点当たり		20.7	
								病院:開業医	4:120		増減	-1:-80		
内科Flu					1	1		1			2	1	20	26
			インフルエンザ総数		91		増減	-77	前週比	54.2%	定点当たり		10.1	
								小児科:内科	65:26		増減	76:-1		

総数124、前週の60.5%と、ほぼ半減です。

春休みに入り、一週間以上経ち、さすがに感染症激減です。

首位は、インフルエンザ、前週比46%、定点当たり10.8と半減です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比79%、定点当たり6.5と、減少です。

3位は、水痘、前週比200%、定点当たり1.3と、増加して来ました。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1以下で少数です。

溶連菌感染症は、6名になり、咽頭結膜熱3名が目立ちます。

久々にマイコプラズマ感染症1名報告です。RSウイルス感染症は、0になりました。

報告対象外ですが、インフルエンザ様に高熱が続き、咳、鼻汁が強い2才女児、hMPV陽性でした。一人居ると、同集団には、ゾロゾロいます。

診て、インフルエンザと鑑別するのは無理があります。Flu(-)例は、疑って下さい。

内科も含むインフルエンザ、前週比54.2%と減少、9定点中8定点から報告です。

小児科定点は、A型7、B型50、型報告無8で、A型が12%になりました。

内科定点では、A型3、B型22、共に陽性1で、A型が12%となりました。

小児科半減ですが、内科は、前週と、ほぼ同数、Aもしつこく残っている状況です。